

個人投資家説明会

Fly to the next stage!

説明資料

ヤマシンフィルタ株式会社 2025年7月12日



社是:**仕濾過事**(ろかじにつかふる)

銘柄:ハイブリッド銘柄

株主還元:高配当銘柄



ヤマシンフィルタの強み

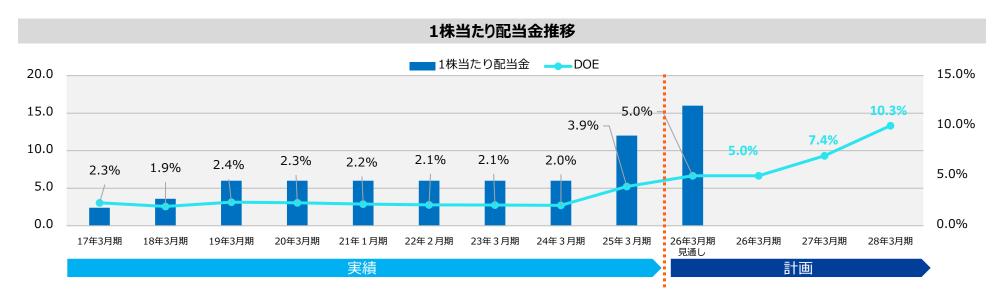
ヤマシンフィルタの強み 株主還元



資本政策を抜本的に見直し高い株主還元を目指す 配当方針として2028年3月期DOE10%

※成長投資の必要性を踏まえ実施

(百万円)	24年3月期 実績	25年3月期 実績	26年3月期 見通し	26年3月期 計画	27年3月期 計画	28年3月期 計画
1株当たり配当金	6円	12円	16円	(16円)	(24円)	(34円)
DOE (%)	2.0	3.9	5.0	5.0	7.4	10.3
配当性向(%)	54.5	49.3	58.4	58.1	72.2	82.9
総還元性向(%)	121.0	52.9	128.4	113.5	119.3	122.0



ヤマシンフィルタの強み



Tier1メーカーとして、建機業界や顧客ビジネスに対するナレッジ・1次情報を豊富に保有、 それらをもとに製品開発・最適供給することで顧客価値を最大化、トップシェアを誇る

POINT.

建設機械分野でフィルタ製品を供給する

Tier1メーカー

POINT.2

建設機械用油圧フィルタ

世界シェアNo.1



国内における主要建機向け 油圧フィルタ売上シェア (2012年度)出典:矢野経 ※377555

顧客 **(建機メ**ーカー)



全部門で業界・顧客の課題や ニーズを把握することで、新た な顧客価値を最大化

全部門型

顧客リレーション

The Specialist in Filtration YAMASHIN

顧客窓口

営業

研究開発

生産

顧客ニーズを満たす3つの強み

高度な 提案力

キー パーツを 独自開発 **優れた** サプライ チェーン

ヤマシンフィルタの強み ろ材から開発



世界でヤマシンフィルタのみが液体用フィルタの研究開発・製造・販売(垂直統合型企業)することが出来る 唯一無二のフィルタメーカ –

得意先のニーズに合致した製品の開発・供給がタイムリーに実現可能

これまで

社会の要請に合わせてフィルタのろ材に こだわり、自社で独自の素材を開発し業界をリード

創業期



帆布製品の経製加工

黎明期



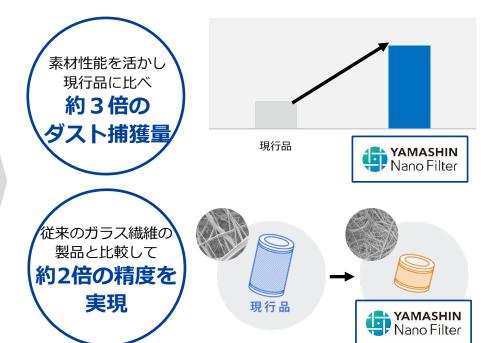
/ィルタメーカー として自社で ろ紙を開発

発展期



新製品

YAMASHIN Nano Filter® から生成される ナノファイバー素材は、立体的な構造と加工の自由 度の高さが特徴



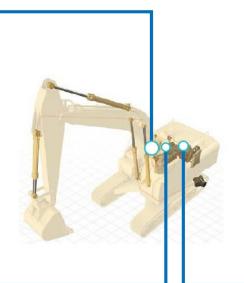
ヤマシンフィルタの強み 建機に使用されているフィルタ

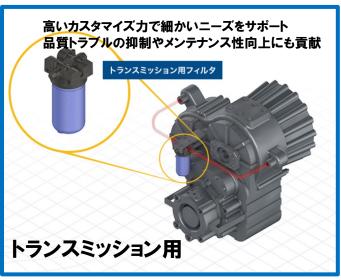


建設機械の稼働に不可欠なフィルタ、多様なラインナップを建機メーカーに提供







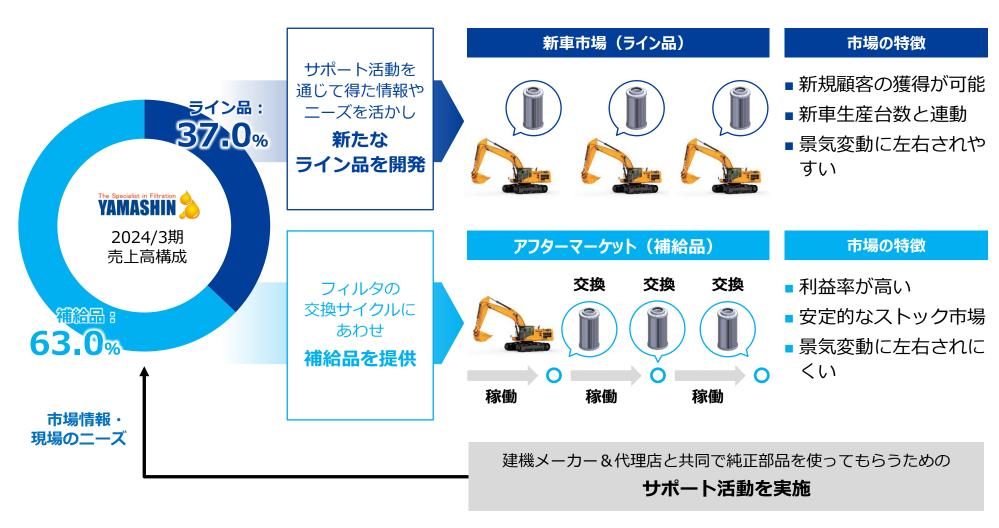




ヤマシンフィルタの強み 新車市場とアフターマーケット市場



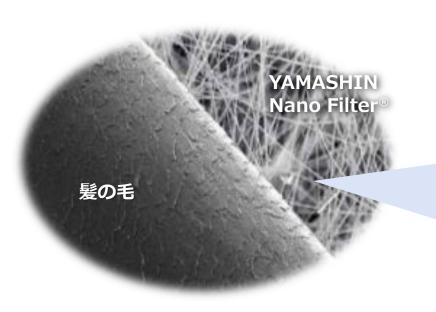
新車ライン品と交換用のアフターマーケット品を組み合わせることで、安定した収益構造を実現(ストックビジネス) 加えて市場の情報やニーズを把握し、新たな開発につなげるサイクルを確立



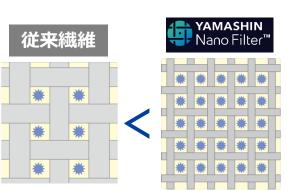
ヤマシンフィルタの強み YAMASHIN Nano Filter®

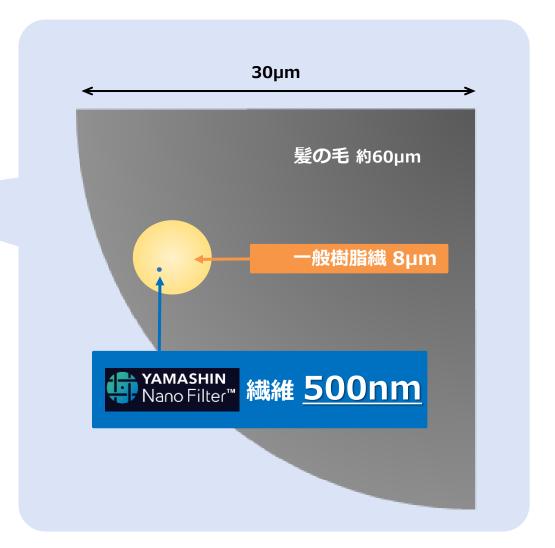


髪の毛の約1/120の細さ、約3倍のダスト捕獲量



素材性能を活かし 現行品に比べ 約3倍の ダスト捕獲量





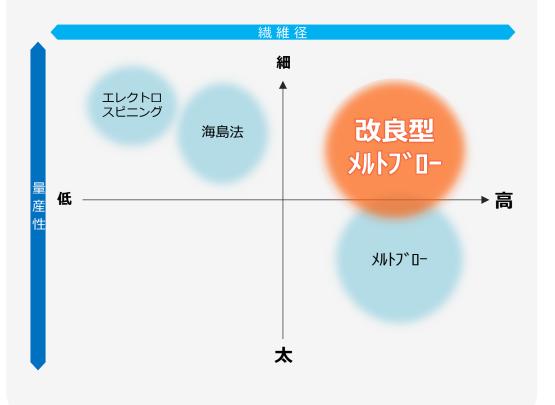
ヤマシンフィルタの強み YAMASHIN Nano Filter®



YAMASHIN Nano Filter®の技術

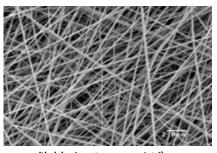
■安価なナノファイバー

「改良型メルトブロー法」という独自の生産方法で **圧倒的な量産性**を実現

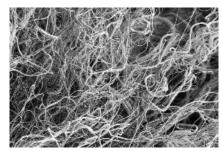


■厚みがあり、シート化可能

繊維径分布と特殊な形状の融合により、 ファイバーを立体構造化し、嵩高さを作り出す



他社ナノファイバー



YAMASHIN Nano Filter®



ヤマシンフィルタの強み YAMASHIN Nano Filter®



当社の取組やYAMASHIN Nano Filter®の今後の進展がビジネス誌に取り上げられるなど、海外でも高い注目を集めている



▲表紙

米国時間2025年2月21日に発売 「Newsweek International (ニューズウィーク国際版)」 2025年3月7日号(VOL.184)に掲載 The Worldfolio 社 Web ページ 掲載記事 3 -日本語翻訳

イノベーションでろ過に革命を

数十年前にろ過市場でデファクトスタンダードを確立したヤマシンフィルタは、画期的なナノファイバーフィルタでさらなる飛躍を遂げようとしている。

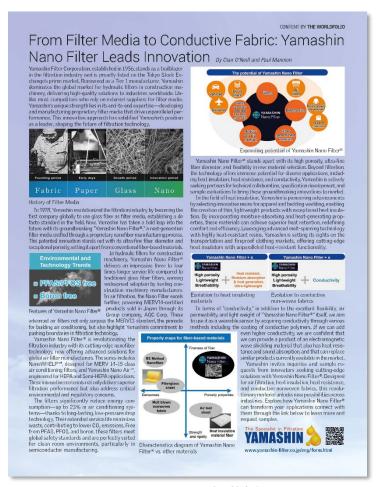


ヤマシンフィルタ株式会社:代表取締役 社長執行役員 山崎 敦彦

現状では、日本はサブライチェーンのボトルネックや投入コストの上昇など、一連の課題に直面しています。それでも、結果的には一連の好機が訪れた形でもあります。日本は国際的にもその品質の高さに定評があります。各国がカントリーリスタの軽減を機索し、口木円が歴史的な安値にあることから、日本はかつてないほど費用対効果が高くなっています。これが事実であるとすれば、日本企業は現在のマクロ経済の状況をどの視度活用することができるでしょうか。

鼓初に、日本の企業はそれぞれ異なるということを申し上げておきたいと思います。各日本企業にはそれぞれの長所と短所があるため、一概に日本企業を総括するのは難しいです。COVID-19 は大きな転換点となり、物流コストの上昇と併せて、数頼、アルミニウム、その他の金属の価格が上昇しました。しか





▲Newsweek International掲載紙面

2025 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.



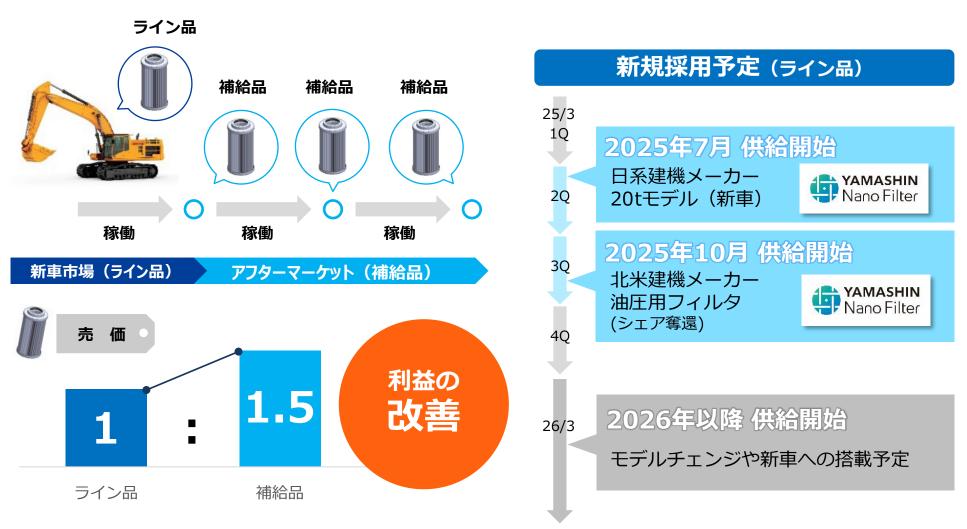
新たな価値創造の取り組み

11

建機用フィルタ事業 売上高の拡大と利益の改善



補給品はライン品に比べて、売価が1.5倍となり、販売数量が増加すれば利益率が改善ライン品の供給が始まれば、補給品の供給が始まるため、販売数量の増加が見込める



エアフィルタ事業 ろ材の拡販



規制動向や環境ニーズの高い欧州をはじめとする海外市場では、機能性ろ材の需要は強い 地産地消が基本となるエアフィルタにおいて、スピード対応するためにろ材販売が最適と判断

フィルタ素材に求める機能性の高まり

環境規制のトレンド PFAS^{※1}規制強化 ZEB^{※2}認証

半導体製造の技術トレンド



※1 有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼び、代表例として、PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)がある。難分解性、高蓄積性、

- ※2 Net Zero Energy Buildingの略称。建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロとすることを目指した建物
- ※3 ホウ素のこと。半導体特性に影響を与えてしまうため、半導体工場では避けられる。
- ※4 冷暖房等の空調システム。
- ※5 出典: Research and Markets

NanoWHELPシリーズのろ材販売

ガラス繊維ろ材にかわる不織布ろ材

製品用途

中高性能エアフィル 夕用

製品特徴

省工ネ性能 低CO2排出

PFAS · PFOSJU—*1

エアフィルタ市場

HVAC*4用フィルタ全世界

67.2億米ドル (2024年)

年平均成長率6.9% ※5

Nano Air(HEPA)シリーズのろ材販売

ガラス繊維ろ材にかわる不織布ろ材

製品用途

特に高い清浄度が求められる環境向け 製薬・半導体製造のク リーンルームなど

製品特徴

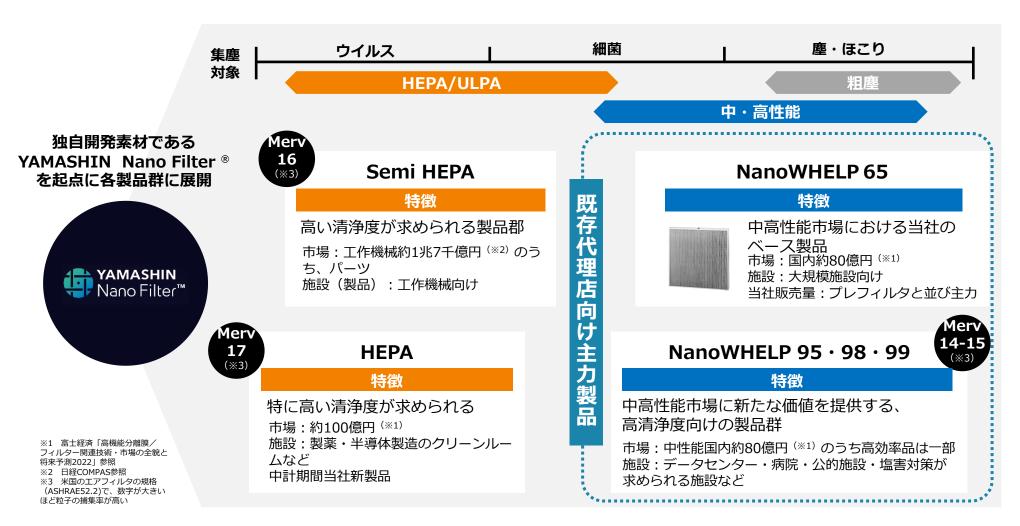
PFAS・PFOSフリー*1 ボロンフリー*3の 不織布型

長距離移動性という性質がある

エアフィルタ事業 既存商流の強化



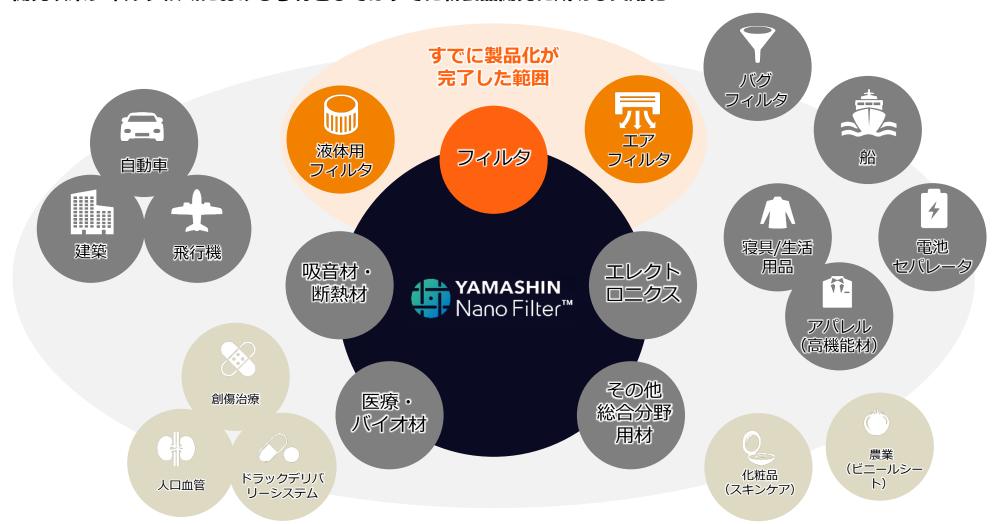
独自開発のナノファイバーろ材を用いたNanoWHELPのラインナップが存在 特徴であるロングライフ化と低い空気抵抗による省エネ・CO2低排出を活かす



新たな領域への展開 YAMASHIN Nano Filter®の可能性



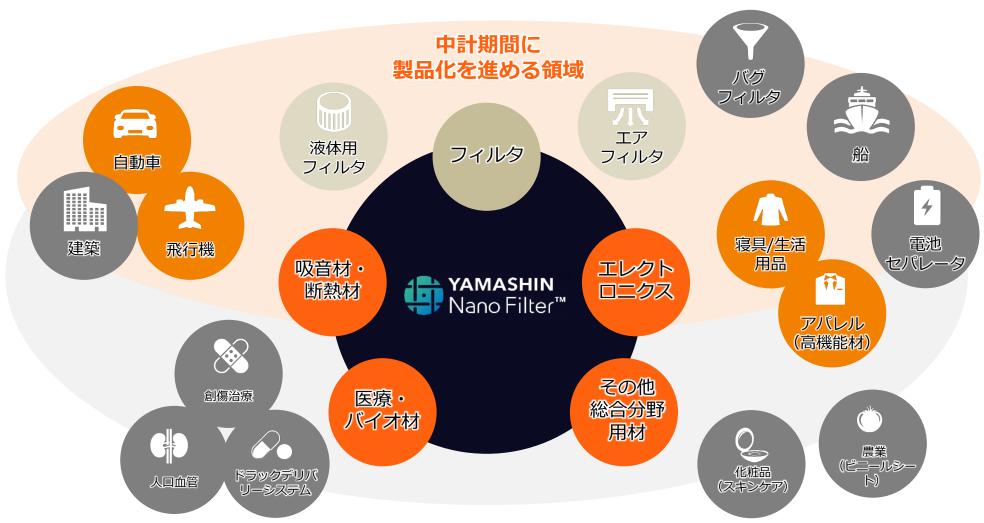
YAMASHIN Nano Filter® は素材として様々な可能性をもっており、 開発以来フィルタ領域におけるろ材としてはすでに新製品開発に成功し実用化



新たな領域への展開 中計期間における開発想定範囲



すでに製品化しているフィルタ領域に加えて「断熱・吸音」「エレクトロニクス」分野を軸に 自動車・飛行機、アパレル分野への進出を目指す研究開発を進める



新規事業(アパレル分野)



断熱素材の開発では、バイオマスPETを原材料とした素材開発が進展 吸湿発熱など最終製品のニーズに応える機能性を付与した製品開発に移行

耐熱素材開発の主な成果

従来製品よりも価格競争力があり、 環境面に配慮したバイオ-PETの 中綿素材を開発

原料イメージ



バイオマスPETの 3つのメリット

- **1** CO₂排出量 21%削減
- 2 資源の 多様化
- 3 リサイクル 可能



想定される使用用途



- ・スポーツウェア
- ・アウトドアウェア
- ・寝袋、テント
- ・ペット用品など
- 環境意識の高まりによりサステナブル素材として注目
- 極細繊維が空気を包み込み、断熱性・保温性が高い
- 従来綿より薄くてストレッチ性がありスポーツに最適
- 蒸れにくく快適な着心地を実現

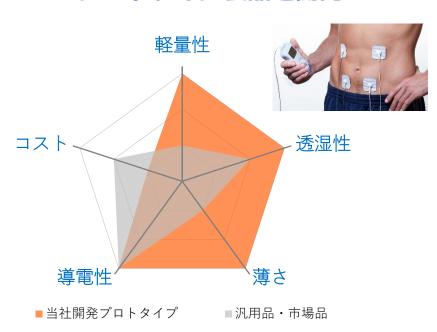
新規事業(スマートテキスタイル)



高性能な生体電極のプロトタイプを開発 実用化のポイントは、違和感なく自然に身につけられる快適性 ナノファイバー不織布ならではの柔軟性&伸縮性&透湿性で差別化

導電素材開発の主な成果

ナノファイバーの特性を活かし 薄型軽量・透湿性の高い プロトタイプ製品を開発



想定される市場規模※

全世界・スマートテキスタイル

0.88兆円 2024年



2.4兆円 2028年

※出典: THE BUSINESS RESEARCH COMPANY

想定される使用用途



- ・スポーツ・フィットネス
- ・ウェルネス/美容
- ・ヘルスケア/医療
- ・介護・リハビリ

動画分析出来ない筋肉の可視化

筋電パターンの変化から筋肉のバランス変化を検出

アスリート分野 筋力量、心拍、 疲労検出



介護 リハビリ分野筋力量を
モニタリング



新規事業(高耐熱素材)



極めて高い断熱性と軽量性を兼ね備えており、住宅の省エネ化や航空宇宙産業における熱制御素材としての 応用が期待される

ビル・住宅

薄型・軽量かつ柔軟な構造で、 壁材・屋根材に使用可能 環境配慮型の建材素材として応用可能



航空宇宙産業

ナノファイバーの優れた断熱性が 機器や乗員の安全をサポート 更に薄型・軽量化でスペースの確保を実現



新規事業(電磁波シールド素材)



外部環境に影響を及ぼす電磁波をブロックし、機器本来の性能を引き出す高機能素材を開発中 将来的には、通信機器、医療機器、車載電子機器など、幅広い産業分野への展開を目指す

ドローン

通信安定性や制御精度が向上し、 物流、災害対応、農業、防衛などの分野で ドローン活用を支える



EV関連

電磁波による誤動作や効率低下を抑制し、 システム全体の信頼性と エネルギー効率を向上させる





社是:**仕濾過事**(ろかじにつかふる)

銘柄:ハイブリッド銘柄

株主還元:高配当銘柄



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております 実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL

045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp